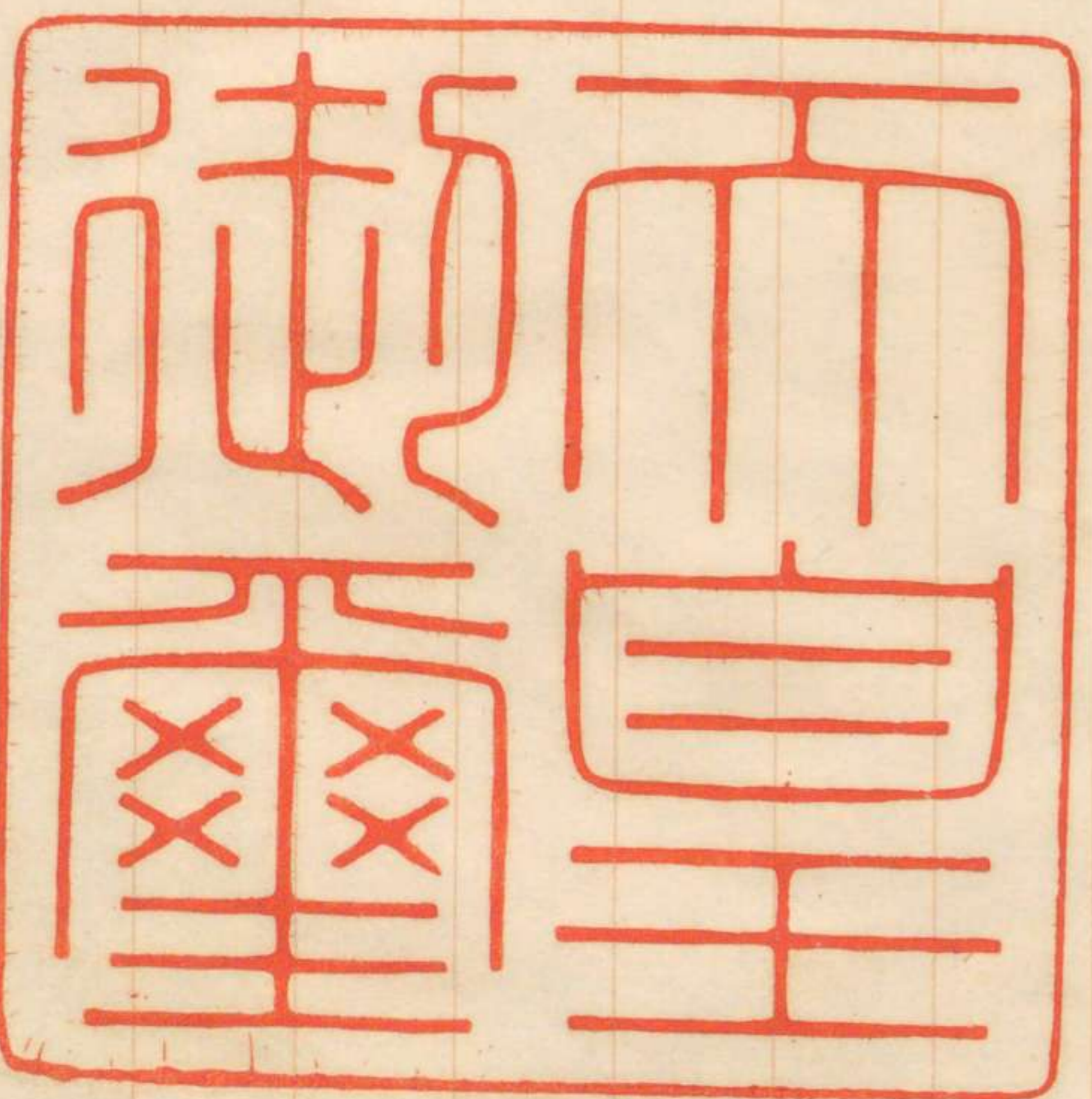


第廿二号



朕陸軍参謀條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

睦
仁



明治三十一年二月七日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
陸軍大臣子爵桂 大帥

勅令第二十號

陸軍參謀條例

第一條 參謀將校ハ高等將帥ノ職務ヲ
輔佐シ殊ニ國防及用兵ニ関スル機務
ヲ參畫シ又軍隊練成ノ事務ヲ掌ル其
ノ他特別ノ任務ハ各條規ノ定ムル所
ニ依ル

第二條 參謀將校ハ參謀總長之ヲ統轄
シ編制ノ定ムル所ニ於テ服務セシム

第三條 參謀ノ職ニ補スヘキ者ハ各兵

科ノ大尉以上ニシテ左ノ資格ヲ有ス
ル者ヨリ選抜スヘキモノトス
一 陸軍大學校卒業後一箇年以上隊
附勤務ニ服シタル將校ニシテ參
謀總長ノ適任ト認ムル者
二 學識才能卓越セル將校ニシテ參
謀總長ノ適任ト認ムル者
第四條 參謀將校ハ進級スル毎ニ少ク
モ一箇年間隊附職務ニ服セシムルヲ
例トス

第五條 參
シムル者
兵ノ職務ニ熟達セ
シムルモノト
ス

第六條 參謀
兵科ヲ選テ隊
トヲ得
ハ毎年凡ソ二箇月間
勤務ニ服セシムルコ
トヲ得

第七條 本條例
ヨリ施行ス
附則
明治三十一年二月十日

第八條 明治二十一年五月勅令第二十五號

科ノ大尉以上ニシテ左ノ資格ヲ有ス
ル者ヨリ選抜スヘキモノトス

一 陸軍大學校卒業後一箇年以上隊

附勤務ニ服セシテ參

謀總長ノ適任
認ムル者

二 學識才能卓
セシテ參

謀總長ノ適
任認ムル者

第四條 參謀
進級スル毎ニ少ク

モ一箇年明
ニ服セシムルヲ

例トス



第五條 參謀將校ハ其ノ職務ニ熟達セ
シムル為メ彼此交任セシムルモノト

ス

第六條 參謀將校ハ毎年凡ソ二箇月間
兵科ヲ選テ隊附勤務ニ服セシムルコ

トヲ得

附則

第七條 本條例ハ明治三十一年二月十日

ヨリ施行ス

第八條 明治二十一年五月勅令第二十五號

参謀職制ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ
廢止ス